

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名:みらいりんく糸満

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | ・十分な職員の配置がなされている。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | ○ | | ・完全ではないが、気を付けなければいけない児童は見守りを徹底している。 ・ジョイントマットを敷いている。 ・階段に手すりを設置している。 | ・事業所構造上、全てをバリアフリーにすることはできない為職員一人一人が、子供たちの安全面に気を配っていきます。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | | ・毎日の朝礼や就業後のミーティングを通して、支援内容の確認や改善に繋げている。 | ・朝礼や就業後に限らず、適宜、情報共有を図り業務改善に努めていきます。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | ・評価表を集計後、全ての職員へ回覧を行っている。 | ・評価表回覧後も、日々、改善点などをチェックします。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | ・保護者への郵送 ・職員は回覧 | ・ブログや会報(みらいりんく通信)にも掲載したいと思います。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | | ○ | | ・今後、検討していきたいと思います。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | ・外部研修への参加や内部研修を開催している。 | ・今後も外部研修への参加や、自主研修の開催など積極的に行い、研鑽に努めていきます。 |
| 適切な | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | ・支援計画を作成する際には、職員で話し合い客観性を分析するようにしている。 | ・支援計画の更新の際は、アセスメントを適切に行ったうえで、職員が意見を出し合い、子どもと保護者の課題やニーズを客観的に分析するようにしていきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | | ・スキルリスト(学習・身辺自立・ソーシャルスキル・ITリテラシー・余暇・性・進路キャリア)を利用している。 | ・今後もスキルリストに沿って、子どもの適応行動を把握していきます。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | ・職員で話し合い、活動プログラムの立案を行っている。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | ・活動プログラムが固定しないよう、適宜、職員で話し合っている。 | ・4月と9月に活動プログラム立案の話し合いをしています。必要に応じ話し合いを行っていききたいと思います。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | ・長期休暇時は、子どもの意見を取り入れた活動も行っている。 | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|-------------------------|---|----|---------------|-----|---|---|
| 支援の 提供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | ・職員で話し合い、個別活動と集団活動をくみあわせている。 | ・子どものその日の状況(身体や精神面)にも配慮し、個別活動や集団活動に参加できる工夫をします。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | ・就業前に、打ち合わせを行い、1日の主家ジュールの確認、役割分担を行っている。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | ・その日の活動で気になった事など、情報を共有している。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | ・支援終了後は、子ども一人ひとりの支援記録を行っている。 | ・支援記録は、活動日誌にならないよう、子どもの目標や課題に沿った内容を記録するよう心がけています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | ・半年に1回のモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | ○ | | | | |
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | ・担当者会議参加の前に、職員へ当該児童の課題や生長点などの確認を行っている。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | | ・現在、医療的ケアが必要な利用者はいませんが、対象児童のが利用する際は、体制を整えます。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | ・就学前や就学後間もない時期に、関係機関と情報共有を行っている。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | | | ・現在、当該児童がいません。当該児童がいる場合は、支援内容等の情報を提供する予定です。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | ○ | | ・個人的なつながりのある有資格者や他事業所の助言を頂くことはある | ・専門機関との連携、助言や研修を積極的に受けていきたいと思っています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | | ○ | | ・毎回、課題にあがり保護者も交流を希望しているため、コロナ禍の状況を考慮し交流の場がもてるようになれば、交流の場を設けたいと思います。 |
| 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | ○ | | | ・協議会等、参加の案内があれば積極的に参加したいと思います | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|------------------------------------|--|----|---------------|-----|---|---|
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | ・日々の連絡帳や送迎時に保護者へ子どもの様子を伝え情報共有を心がけている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | ○ | | ・他機関より、ペアレントトレーニングの案内があった場合に、保護者に案内するようにしている。 | ・案内するだけでなく、保護者が研修を受けられるよう支援していきたいと思います。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | | ・丁寧な説明を心がけていきたいと思います。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | | ・より一層、細やかな支援を心がけていきたいと思います。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | | ・2020年度は、コロナ禍で開催できなかったもので、2021年度は状況を適切に判断し、保護者会の開催を検討していきたいと思います。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | ・相談した苦情が発生した場合には速やかに対応している。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | ○ | | ・ブログで活動の様子を配信している。 | ・ブログは適宜更新し、会報(みらいリンク通信)を定期的に発行できるようにしていきたいと思います。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | | ・書類は鍵付きの棚に保管し、守秘義務については採用時に誓約書を提出させています。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | ・連絡帳Lineを通して意思の疎通や情報伝達を行っている。 | |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | | ・2020年度は、コロナ禍で地域行事の中止が相次ぎました。地域行事が再開した際には、参加したいと思います。 | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | | ○ | | ・マニュアルは完備している。 | ・マニュアルは整備しているが、保護者への周知に課題があるので、保護者会等で閲覧できるようにします。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | ・年2回避難訓練を行っている。 | ・避難時の持ち物や防災グッズ等の充実を図っていきます。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | ・外部研修参加や自主研修を行っている。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | ・契約書や重要事項説明書に記載されており、契約時に丁寧な説明を心がけている。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | | | ・現在、医師の指示書が必要な子どもは利用していないが、対象児が利用する際は、指示書に基づき対応します。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | | ○ | | ・朝礼等で、ヒヤリハットの情報を共有している。 | ・ヒヤリハット事例集も記録が、疎かにならないよう記載方法を工夫します。 |